患者さんパンフレット

四国がんセンター

私たち医療スタッフは

Ⅰ　入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、
最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いいたします

Ⅱ　抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、
安全に治療を続けることができるようお手伝いいたします

抗がん剤治療

（　　療法）を

受けられる方へ

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿さま

主治医

受け持ち看護師

2014年11月 5日　作成
2024年2月15日　改定

入院中の生活の注意点

◆感染予防のためにマスクを着用し、手洗いうがいをしましょう
◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
◆排泄を促すために水分をしっかりとりましょう
◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください

◆正しく安全に点滴液を投与するために輸液ポンプを使用します
・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう

こんなときは看護師にお知らせください
＊輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
＊点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき

◆抗がん剤治療開始から治療後２日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

・男性の方は飛び散り防止のため、
座って排尿しましょう

・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
２度拭き取ると良いでしょう

・トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を２回流しましょう

・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、 当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるよう患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標もあげています

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともありますが、その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます

入院日～治療前日　　月　　日～

今日の目標
- 入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- わからないことは質問することができる

＜時間＞	＜予定＞	
11：00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明 （テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定
12：00	昼食	・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・医師より治療の説明があります ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください ・薬剤師より薬の説明をします ・看護師より、治療スケジュール、副作用と自己チェック、日常生活の注意点について説明をします ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください ＜お薬＞ ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします ＜食事＞ ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
18：00	夕食	・特に制限はありません ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります
21：30	消灯	＜清潔＞ ・治療前日はシャワー浴をしましょう

MEMO　　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- 入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します

抗がん剤治療当日　　月　　日　～　　月　　日

今日の目標
- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 転倒しない

＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床 検温、血圧測定
7：30	朝食
10：00	検温、血圧測定
12：00	昼食
14：00	検温 血圧測定
18：00	夕食
19：00	検温 血圧測定
21：30	消灯

シャワー浴を希望する場合は、点滴前に入れるよう看護師と相談しましょう

看護師と一緒に治療スケジュールを確認しましょう
治療の予定については「服薬指導」の用紙参照
「入院中の生活の注意点」のページ参照

副作用と対策について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照

点滴を始めます

※点滴中は看護師が頻回に伺います
※点滴が終了したら針を抜きます

- 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- 息が苦しい、咳が出る、ドキドキする、体が熱いときはすぐにお知らせください
- 治療後は十分な水分をとりましょう

退院日のページの後に、体調の変化や副作用症状について記載できるページがありますので、活用してください

医療スタッフの目標
- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます

抗がん剤投与終了翌日～翌々日　　月　　日～　　月　　日

今日の目標
- 治療内容について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

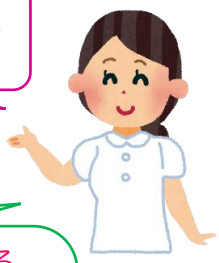
＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床 検温、血圧測定
7：30	朝食
10：00	検温、血圧測定
12：00	昼食
18：00	夕食
19：00	検温 血圧測定
21：30	消灯

体調に合わせて
体を拭いたり
シャワー浴を
しましょう

フタをして
水を２回流しましょう

脱毛のリスクがある場合は、治療２日目に脱毛について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照
「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」のパンフレット参照

食事を変更したい、着替えがしたいなど
看護師へご相談ください



- 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- 吐き気や食欲がない、便秘、下痢など気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
- 治療後は十分な水分をとりましょう
- 口内炎予防のため、お口の中をきれいにしましょう

医療スタッフの目標
- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出の早期発見に努めます

治療後の観察期間　　月　　日～

今日の目標
- 治療内容について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床
7：30	朝食
10：00	検温、血圧測定
12：00	昼食
18：00	夕食
21：30	消灯

体調に合わせて
体を拭いたり
シャワー浴を
しましょう

副作用と対策について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照

食事を変更したい、着替えがしたいなど
看護師へご相談ください

- <u>吐き気や食欲がない、便秘、下痢など気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください</u>
- 治療後は十分な水分をとりましょう
- 口内炎予防のため、お口の中をきれいにしましょう

医療スタッフの目標
- 副作用症状の早期発見に努めます

退院準備期間　　月　　日～

今日の目標
- 退院後の日常生活について理解できる
- 退院後の日常生活で不安なことを医療スタッフに伝えることができる

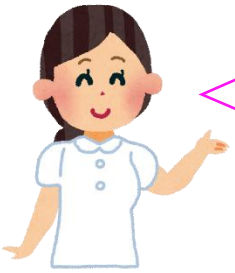
＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床
7：30	朝食
10：00	検温 血圧測定
12：00	昼食
18：00	夕食
21：30	消灯

シャワー浴をしましょう

★外来治療についてのオリエンテーションがあります

★通院治療室についての説明と見学があります
（初回外来通院となる場合は見学をお勧めします）

副作用と対策について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照



【退院前日】
看護師より退院当日の流れと、退院後の日常生活について説明します

MEMO　　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- 退院の準備をすすめられるよう支援します

退院日　　月　　日

今日の目標
・退院できる

＜時間＞　＜予定＞

6：00　起床
検温、血圧測定

7：30　朝食

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします
２階窓口で支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10：00　退院
退院前に忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診は

月　　日（　　）時の予定です

＊外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります
＊退院してからの様子（副作用症状の有無や程度）を記入したメモなどがあれば
次回外来受診時または入院時にお持ちください

MEMO　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
・退院後の日常生活に不安がないよう支援します

「暖だん」では脱毛や爪障害に関連した製品を展示しています

ウィッグ製品展示室で、定期的に協力メーカーのアドバイザーによる相談会を開催しています

がん治療による脱毛や爪傷害に関連した製品の試着もできます

お気軽にお越しください

アドバイザーによる相談会の開催日は
医療スタッフにご確認ください

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

①受付

Bブロック

②採血
中央処置室

☆採血時のお願い☆
採血場所や注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血してもらってください

採血結果が出るまで、
約３０分～１時間かかります

③診察受付
A、B、C、S 各ブロック

④診察

Aブロック
呼吸器科
消化器科
緩和ケア
精神腫瘍科
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科

Bブロック
泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

Cブロック
乳腺科
婦人科
形成・再建皮膚腫瘍外科
頭頸科・甲状腺腫瘍科

Sブロック
消化器科
糖尿内科
循環器科
皮膚科
眼科
リンパ浮腫

治療決定

Sブロック

⑤治療
通院治療室

外来では、
看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

他の診療科で診察のある方は、各診療科受付へ

⑥会計

予約センターは
Ｂ受付の隣です

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付６番窓口に提出してください。

＊お薬の処方がある方へ
会計終了後に処方箋をお渡しします。４日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

●外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行いますので、少しお時間を頂きます。

●ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。

●テレビは無料でご利用できます。また、ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。但し、ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。

●携帯電話はマナーモードに設定し、通話はご遠慮ください。

●通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。

●トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。
男女兼用ですが、３か所あります。

●ご家族の待機場所は、「暖だん」や「図書コーナー」などがありますのでご利用ください。必要時には、付き添うこともできます。

●副作用や日常生活で困っていることなど、相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。

四国がんセンター　2012年11月　作成
2022年4月　改定

退院後の日常生活について

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、
少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうようなときは、１～２食、食事は控えて
みましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう

●発熱

３７.５℃以上の熱がでた場合、退院前に薬が処方されている方は、医師の指示どおりに
抗生剤や解熱剤を服用しましょう
服用しても熱が続く場合は、がん相談支援センターにご相談ください
薬が処方されていない方は病院に連絡しましょう

治験参加中の方は、発熱時の対応について担当のＣＲＣ※と確認しておきましょう
※ＣＲＣとは、臨床研究コーディネーターのことです
　治験参加中の患者さんには、担当のＣＲＣがつきます

●排泄

毎日排便があるようにしましょう
軽い運動や水分を多めにとりましょう
下痢のときは白湯やスポーツ飲料などをとりましょう
水分を控えると脱水症状を起こすことがあります
便秘気味の方は、緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）で排便コントロールを
しましょう
退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう
＊退院後、便秘が続き排ガスがない、下痢や吐き気、腹痛がある場合はかかりつけ医、
または、四国がんセンターの医師の診察を受けるようにしましょう

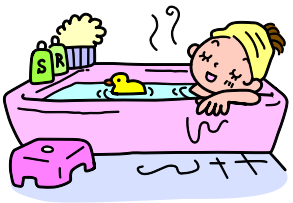
●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう
外出時は、マスクを着用し、帰宅時に手洗い・うがいをしましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

●入浴

特に制限はありません



●仕事

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています

私たちと一緒に考えていきましょう

ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

- 医療ソーシャルワーカー、看護師

＜出張相談＞

- ハローワーク松山就職支援ナビゲーター
- 両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください

ほかの病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

治験参加中の方は、お薬について、担当のＣＲＣと確認しておきましょう

MEMO　　気になることや症状など書き留めておきましょう

・３７.５℃以上の熱が出たとき
・数日間食事、水分がとれないとき
・嘔吐が続くとき
・下痢、便秘が続くとき
・
・

上記のような症状がある場合や、ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】　８：３０～１７：１５
四国がんセンター　がん相談支援センター
（直通番号）　０８９-９９９-１１１４

＊治験参加中の方
【平日】　９：００～１７：００
四国がんセンター　臨床研究センター
（直通番号）　０８９-９９９-１１９６

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
（代表番号）　０８９-９９９-１１１１

＊外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください
【平日】　８：３０～１７：１５
（直通番号）　０８９-９９９-１１１２

抗がん剤治療を受けられる方へ